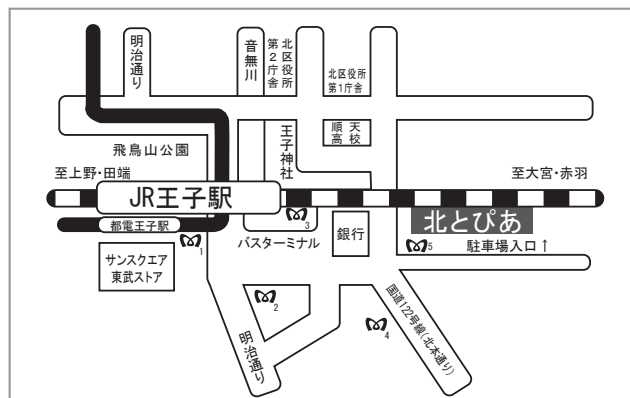


《会場のご案内》 <ご参加を申し込まれた方には詳細な案内図を送付致します>

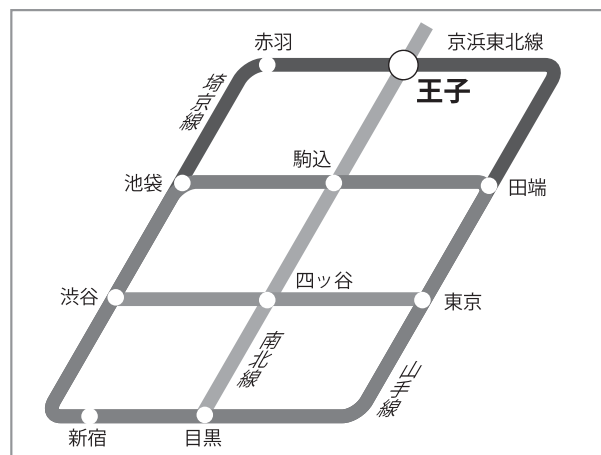


〒114-8503 東京都北区王子1丁目11-1
TEL 03-5390-1100 (フロント)



最寄駅のご案内

JR京浜東北線/王子駅北口より徒歩約2分
東京メトロ南北線/王子駅5番出口直結
都電荒川線/王子駅前駅より徒歩約5分



鉄道のご案内

JR京浜東北線で東京駅から約25分
新宿駅から約40分
(山手線田端駅で京浜東北線に乗換えの場合)
地下鉄南北線で目黒駅から約35分

第57回 温泉保護・管理研修会

主催 公益財団法人 中央温泉研究所
後援 環 境 省

公益財団法人 中央温泉研究所

平成29年7月九州北部豪雨の被災地・被災者の皆さまには謹んでお見舞い申し上げます
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会まであと3年になり、国内の景気はやや上向加減
(緩やかな回復基調)といわれていますが、温泉地では宿泊者数の減少傾向が続き、地域振興、
温泉地の活性化、温泉需要の拡大が大きく叫ばれています。

資源的には、しばらく続いた源泉数や総採取量の増大が数年前から伸び悩み状況で、枯渇現象も
一段落といったところ です。インバウンドに対する期待も落ち着き、温泉の利用は安全を確保し
つつ、観光や健康増進、時代に適合した保養・休養・療養機能のリニューアル、更にはエネルギー
利用を含む多面的な新市場の開拓が新しい課題となってきました。

本年の研修会では、温泉医学や温泉工学、温泉観光学、衛生管理といった基礎的な講義の他に、
国の温泉に対する新しい取り組みや、利用面での安全確保、特に温泉に含まれる硫化水素の
対応や資源のモニタリング機器の解説、歴史・文化面での温泉遺産、温泉地の役割などバラエテ
ィに富んだ講演をお願いいたしました。

現地見学会は、新源泉を獲得した湯治型の国民保養温泉地である山梨県南巨摩郡身延町にある
下部温泉の源泉と利用施設の見学を予定しております。

会 場：北とぴあ ペガサスホール(15階)【案内図別掲】

日 時：平成29年11月15日(水) 13時00分より17時30分まで

” 平成29年11月16日(木) 9時00分より15時30分まで

現 地 見 学 会：平成29年11月17日(金) 山梨県身延町 下部温泉 (自由参加)

JR甲府駅 集合 9時30分 (予定) 解散 16時00分 (予定)

下部温泉の源泉見学とモニタリング機器の説明、測定方法 他

※紅葉シーズンのため交通状況によりスケジュールに遅れが予想されます。あらかじめご了承ください。

参 加 費：26,000円 (テキスト代、消費税含む)

現地見学会費：7,500円 (昼食代、現地バス代、消費税含む) 現地までの旅費は各自負担

申 込 先：参加費26,000円、現地見学会に参加の方は会費7,500円を納入し、申込書に現地見
学会への参加・不参加を明記の上、下記にお申し込み下さい。

〒114-0023 東京都北区滝野川三丁目56番9号

公益財団法人 中央温泉研究所 温泉保護・管理研修会係

参加費は郵便振替、銀行振込をご利用下さい。

振 込 先：郵便振替：00150-9-665641 温泉保護・管理研修会

銀行振込：みずほ銀行高田馬場支店 普通預金 2403036

公益財団法人 中央温泉研究所 理事長 長島秀行

上記いずれの場合でも、郵便局、銀行の受領書のコピーを必ず同封して下さい。
原則として領収書の発行はいたしません。受領書を以って領収書に換えさせていただきます。

※請求書、領収書、その他書類が必要な場合は前もって研修会係迄お申出下さい。

そ の 他：Ⅰ. 温泉用機器、機材展示を予定しています

Ⅱ. 温泉に関するご相談は随時対応させていただきます

プログラム

1. 温泉行政について

講師：環境省自然環境局 自然環境整備課長 **木村 英雄**

環境省では、温泉法の運用を通じて「資源保護」、「可燃性天然ガスによる災害防止」、「公衆衛生の担保」及び「国民保養温泉地の指定」等を実施しています。また、近年は温泉地活性化に向けた取組を実施しており、これらの施策について紹介いただきます。

2. 最近の温泉生物学

講師：公益財団法人 中央温泉研究所 理事長 **長島 秀行**

温泉を最初に発見したのは、有名な高僧や武将など人間ではなく、熊や鹿などの野生動物であつたらしい。現在も温泉で野生の猿が入浴していることが知られているが、多くは細菌や藻類などの微生物である。温泉微生物には病原性細菌もいるが、有用な細菌や藻類もいる。これらの温泉生物についてなるべくわかりやすく解説したい。

3. 温泉医学

講師：埼玉医科大学 リハビリテーション医学 主任教授 **倉林 均**

温泉の医学的作用は、①物理作用（温熱、水圧、浮力、粘性）、②化学作用（イオン、化合物、ガス、pH）、③生物作用（総合的生体調整作用）に分類される。高温浴では脳梗塞や心筋梗塞等の血栓症を発病することがあり、血液粘度の上昇、血小板の活性化、線溶機能の低下、血管内皮の障害、血圧変動などが原因である。

4. 浴槽水のレジオネラ防除対策

講師：株式会社マルマ 研究開発部長 **杉山 寛治**

浴槽水等を原因とするレジオネラ感染症は、依然、増加傾向にあり、入浴施設における本菌の防除対策の確立は急務です。そこで、レジオネラは浴槽のどこで、どのように増えるのか。どのような消毒方法、配管洗浄が適当か。遊離塩素による消毒が難しい温泉に適した消毒方法は何か、などについてわかりやすくお話しします。

5. 集中管理施設のリニューアル化について

講師：公益財団法人中央温泉研究所 第3部 部長 **大塚 一夫**

集中管理施設も30～40年を経過すると老朽化した施設のリニューアルが必要になります。施設のリニューアルにあたり建設当初から見て源泉、利用施設の状況と、使用量の増減変化、配管温度の減少があり、耐用年数の限界による施設改修と、システムの見直し、省エネ化、新たな目的の温泉熱利用の有無による利用の効率化、新たな源泉開発の有無等を考慮したりリニューアルの検討が必要となります。ここでは、リニューアルにあたり、幾つかの実例をお話しします。

6. 労働衛生における硫化水素ガスの注意点

講師：中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター 技術専門役・衛生管理士 **東久保 一朗**

温泉利用施設においては、硫化水素対策が必要な施設があり、平成27年3月18日に秋田県内の温泉関係施設において、硫化水素中毒が原因と考えられる労働者3名が死亡する労働災害が発生した。厚生労働省は平成27年3月30日基安労発0330第2号において「温泉関係施設における硫化水素中毒防止対策の徹底について」を発出して労働災害防止対策の徹底を呼びかけている。そこで労働現場で実施されている硫化水素中毒防止対策について皆様と一緒に考え労働災害防止対策の一助としたい。

7. 硫化水素測定器の適正な選定、測定前準備、測定手順、保守について

講師：産業用ガス検知警報器工業会 顧問 **小山 純二**

硫化水素を含有する温泉施設において、硫化水素中毒による事故の発生を防止して、安心して温泉をご利用いただくためには硫化水素濃度の適正な測定が必要になります。そのために、まずは測定者自身の安全を確保するための装着型硫化水素検知器の活用方法を紹介し、続いて測定目的に応じた硫化水素測定器の適正な選定、測定前の準備、測定の手順、そして次の測定のための測定器の適正な保守などについて、注意事項も併せて紹介いたします。

8. 観光マーケティングからみた温泉地活性化

講師：亜細亜大学 経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科 准教授 **久保田 美穂子**

最近の旅行・観光動向の特徴から温泉地の活性化について考えます。調査や分析から実態と世の中の流れを冷静に見極めること。同時に必要なのは、それぞれの温泉地に生きる人が未来に何を残したいのかとことん考えることでしょう。その両方を踏まえて戦略を立てるプロセスが重要だと思います。

9. 下部温泉の源泉と温泉モニタリング機器・方法について

講師：公益財団法人中央温泉研究所 第2部 主任 **高橋 孝行**

下部温泉は、「武田信玄の隠し湯」のひとつで、古くから骨折や切り傷に効く湯として知られてきた湯治場となっています。

源泉は、浴槽底から湧出する自然湧出泉と浅い掘削自噴泉が古くからの既存源泉であり、平成17～18年には大深度掘削の揚湯泉が開発されました。

今回の現地見学では、古くから湯治場として栄えた下部温泉のシンボルともいうべき自然湧出泉と開発された大深度掘削泉の状況、実施している温泉モニタリングの現状についてご紹介できればと考えています。

10. 簡易遠隔温泉モニタリング装置の研究開発

講師：国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所

再生可能エネルギー研究センター 地熱チーム長 **浅沼 宏**

講演者らは2014年度から新エネルギー・産業技術総合開発機構からの委託を受け簡易遠隔温泉モニタリング装置の研究開発を実施している。本装置は温泉配管の途中に取り付け、泉温、流量、圧力、電気伝導度等を遠隔連続計測可能にするものである。本発表では機器の構成、性能等に加え、温泉地等で実施している実証試験の結果を紹介する。

11. 日本の温泉(地)が持つ《遺産(heritage)》とは

講師：温泉評論家／日本温泉地域学会 会長 **石川 理夫**

来日観光客数は年々増え、日本の文化や温泉への関心は高い。能楽や和食に続き、日本の入浴文化をユネスコ無形文化遺産にという動きもある中、ヨーロッパでは7カ国の16温泉地が連携してユネスコ世界遺産暫定リストに載るに至った。こうした世界遺産にもふさわしい、日本の温泉地の歴史文化と温泉資源の価値や意義を《遺産(heritage)》として再評価する。

12. 温泉地の役割

講師：温泉ライター 日本温泉地域学会理事「ねこ温泉 いぬ温泉」プロジェクト主催 **西村 りえ**

映画『男はつらいよ』に描かれた温泉、台湾の温泉地の成り立ち、動物と温泉との関わりを通して、温泉や温泉地にはどんな役割があるのかについて考察します。また日々、温泉取材を続ける中で出会った様々なエピソードについても時間が許す限りご紹介できればと思います。

研修会参加者の出欠確認と修了証書について

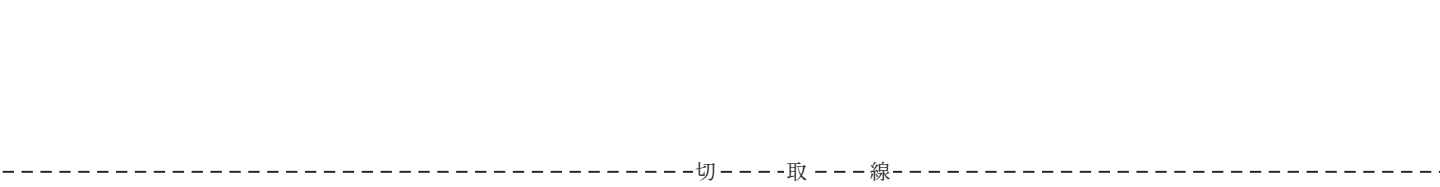
研修会参加者の出欠確認と修了証書について

研修会参加者の出欠確認と修了証書について

研修会参加者の出欠確認と修了証書について

研修会参加者の出欠確認と修了証書について

- 研修期間の2日間共に出欠確認をさせていただきます。
- 原則として、大幅な遅刻、早退の方には修了証書をお渡し出来ません。
- 修了証書は2日目の講義終了後、受講証と交換でご本人にお渡し致します。



第57回温泉保護・管理研修会参加申込書

勤務先名		郵便番号	
所在地		TEL	
参加者名	役 職 名	フリガナ名	現 地 見 学 会
			<p style="text-align: center;">参 加 不 参 加</p> <p style="text-align: center;">必ずどちらかを○で囲んで下さい。</p>
申込方法	郵便振替 00150-9-665641 温泉保護・管理研修会		
	銀行振込 みずほ銀行高田馬場支店 普通預金 2403036 公益財団法人 中央温泉研究所 理事長 長島秀行		
	但し現金の場合は現金書留		

上記の通り参加費26,000円を添えて申込みます。(ただし、欠席の場合の参加費は返金できませんのでご了承下さい)
現地見学会費7,500円。

【申込先】 〒114-0023 東京都北区滝野川三丁目56番9号

公益財団法人 中央温泉研究所

温泉保護・管理研修会係行

TEL 03-6372-1126 FAX 03-4526-0755

会場案内図は裏面にあります。

※本申込書は、研修会事務手続きおよび研修会に係る連絡業務に利用させていただきます。